

日本学術会議公開シンポジウム

「社会的つながりが弱い人への支援のあり方について」

主催：日本学術会議社会学委員会社会福祉学分科会

共催：日本社会福祉系学会連合

後援：社会福祉法人全国社会福祉協議会、公益社団法人日本社会福祉士会、公益社団法人日本精神保健福祉士協会、公益社団法人医療社会福祉協会、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟

日時：平成 31 年 1 月 14 (月)

14：00～17：40

受付開始 13：30～

場所：日本学術会議講堂
東京都港区六本木 7-22-34

東京メトロ千代田線「乃木坂」駅
出口 **5** すぐ

開催趣旨

日本学術会議社会福祉学分科会は、提言「社会的つながりが弱い人への支援のあり方について－社会福祉学の視点から－」を発売した（平成 30 年 9 月 13 日）。本提言は、社会的つながりが弱い人を①家族・職場・地域における人間関係が希薄になっているため、②家族の成員間の関係性があっても家族の外部に対しては閉鎖的なため、自ら欲しても社会的な相互承認の場を十分に持てない人と定義した。こうした社会的つながりが弱い人は近年増加しているが、その背景には、家族、職場、地域の変容があり、単にライフスタイルの結果ではなく、社会問題としてとらえる必要がある。実際に今年、イギリスは孤独担当相を設置して政府としての支援政策の検討を開始した。日本でも無縁死、ひきこもりなどの形で表面化しつつあるこの問題に対し、政府、自治体、社会福祉関係団体が一体となって支援策を検討しなければならない時期に来ていると言えよう。本シンポジウムでは、提言内容の紹介、イギリスの対策の現状を確認した上で、政府関係者およびこの問題に取り組んでいる団体関係者をシンポジストとして迎え、国民及び関係者に対してこの問題の重要性を喚起し、日本における社会的つながりが弱い人への支援のあり方について検討したい。

参加費無料

事前申込み不要

問い合わせ先：

日本社会福祉系学会連合事務局（日本社会福祉学会事務局内）
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
TEL 03-5937-0047 FAX 03-3368-2822
E-MAIL union-jssw@kokusaibunken.jp

次 第

14：00 開会のあいさつ

白澤 政和（日本学術会議連携会員・社会福祉学分科会委員、桜美林大学大学院老年学研究科教授、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟会長）

14：10 日本学術会議提言

「社会的つながりが弱い人への支援のあり方について－社会福祉学の視点から－」の説明
岩崎 晋也（日本学術会議会員・社会福祉学分科会委員長、法政大学現代福祉学部教授）

14：30 講演

「イギリスにおける孤独問題と社会的支援」

ジャネット・ウォーカー（リンカーン大学保健・社会福祉学部副学部長、国際ソーシャルワーク学校連盟イギリス代表理事）

15：30－15：40 （ 休憩 ）

15：40 シンポジウム

「社会的つながりが弱い人への支援のあり方について」

（司会）

原田 正樹（日本学術会議連携会員・社会福祉学分科会委員、日本福祉大学社会福祉学部教授）

（シンポジスト）

高木 美智代（前厚生労働副大臣）

勝部 麗子（社会福祉法人豊中市社会福祉協議会福祉推進室長）

奥田 知志（NPO法人抱樸理事長）

（コメンテーター）

岩崎 晋也

ジャネット・ウォーカー

閉会の挨拶

木原 活信（日本社会福祉系学会連合会長、同志社大学社会学部教授）

*当日は、日本語の通訳がございます。